

【情報交換会】 授業者より
各校より児童・生徒の学習や生活の様子
小中の連携に関する課題について 等

3 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 1月21日(水) 14:15～

(2) 場所 牧丘第二小学校

(3) 目的 小学校の授業を参観し、児童の様子を把握する。地域教材や地域学習の実践を学び、今後の教育活動に生かす。

(4) 内容

【授業参観】 全校音楽 竹川美和教諭

【情報交換会】 牧二小の全校音楽・ふるさと学習について

地域教材の紹介「金子文子」 講師：山下牧郎様

(中牧地区老人クラブ会長)

Ⅲ 成果と課題

1 成果

- ・地域の講師を招いての学習は、大変参考になった。地区の財産を知らずに異動してしまうことも多いので、臨地研修は貴重な機会である。地区の歴史や文化・自然などに触れるよい機会となった。
- ・小中でお互いの授業を参観できたことは大変良かった。中学校の授業参観では、卒業生の成長も見取ることができた。中学校へ行ってどのような課題を抱えているのか等も分かり、今後の指導のヒントになった。小中間の先生方で普段なかなか話す機会がないので、交流ができて良かった。共通の悩みや子ども達の成長ぶりを知る良い機会となった。
- ・情報交換会では、各校の取り組みや子ども達の様子を知ることができた。子ども達の様子を知ることが、連携する上でとても有効だと思う。
- ・3回のブロック交流を通し地域素材を共有したり児童・生徒への理解を図ったりすることができた。子どもたちの数は少なくなっているが、小中連携を活発に取り組み、地域で9年間一貫して子ども達を育てていけるとよい。

2 課題

- ・有意義でかつ負担にならない交流のあり方を進めていきたい。毎年新しいことを行っていくのは大変だが、同じ事の繰り返しも研究への意識低下につながりかねない。
- ・授業参観等では、会場校の負担が重ならないように配慮したい。(指導案等)
- ・夏季休業中の交流研究会は、中学校の各種大会と重ならないように実施時期の検討が必要だと思う。また3回目の時期や全体の回数についても検討が必要だと思う。

(ブロック長 丸山 英子)